

## 資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和7年5月21日

国立大学法人東京科学大学

理事長 大竹 尚登

◎調達機関番号 415 ◎所在地番号 13

○湯島地区第1号

### 1 調達内容

(1) 品目分類番号 15、28

(2) 導入計画物品及び数量

キャンパス情報ネットワークシステム 一式

(3) 調達方法 購入等

(4) 導入予定時期

令和8年4月

(5) 調達に必要とされる基本的な要求要件

A 医歯学系キャンパスネットワークの湯島基幹ネットワークに接続される駿河台、国府台の基幹 L3 スイッチおよび各建物のフロアー用スイッチを含む高速なネットワークシステムを構築すること。

B ネットワークサービスサーバ群については、現状の安全性を一層向上するとともに通信速度のボトルネックを生まない構成であること。

C メールシステムについては学内にサーバを設置する構成とすること。

D 信頼性と可用性を維持するために、極力冗長化を図ることが可能な機能を有すること。

E システムの障害を自動検出し、状況を把握できる仕組みであること。

F システムの運用管理において、十分な省力化及び自動化が達成されていること。

G システムの省エネルギー、省スペース及び低騒音化が考慮されていること。

H システムの移行において、キャンパスネットワークおよびネットワークサービスサーバ群の運用停止時間を最小限に抑えること。現行のキャンパスネットワークで利用している一部の設備は継続的に利用するため、その点も考慮すること。

I システムの障害や瑕疵に対して迅速、かつ、的確に対応可能な保守・サービス体制が整っていること。

2 資料及びコメントの提供方法 上記1(2)の物品に関する一般的な参考資料及び同(5)の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招

請する。

(1) 資料等の提供期限 令和7年6月23日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

(2) 提供先 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京科学大学財務部湯島会計課湯島契約第1グループ 佐藤 江梨奈 電話 03-5803-5942

3 説明書の交付 本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

(1) 交付期間 令和7年5月21日から令和7年6月23日まで。

(2) 交付場所 上記2(2)に同じ。

4 説明会の開催 本公表に基づく導入説明会を開催する。

(1) 開催日時 令和7年5月30日 14時00分

(2) 開催場所 東京科学大学湯島地区施設・財務入札室（1号館西3階）

5 その他 この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6 Summary

(1) Classification of the products to be procured: 15,28

(2) Nature and quantity of the products to be purchased: Campus information network system 1 Set

(3) Type of the procurement: Purchase

(4) Basic requirements of the procurement:

A Construct a high-speed network system that includes the core L3 switches at Surugadai and Kounodai, as well as the floor switches in each building, which will be connected to the Yushima core network of our medical and dental campus network.

B The network service server group should be configured to enhance the current security and avoid any communication speed bottlenecks.

C The email system should be configured with servers installed on campus.

D To maintain reliability and availability, the system should include features that enable as much redundancy as possible.

E The system should have a mechanism to automatically detect faults and understand the situation.

F The system should achieve sufficient labor-saving and automation in its operation and management.

G The system should consider energy saving, space saving, and noise reduction.

H During the system migration, the downtime of the campus network and network service server group should be minimized. Consider that some of the equipment currently used in the campus network will continue to be used.

I There should be a maintenance and service system in place that can respond quickly and accurately to system failures and defects.

(5) Time limit for the submission of the requested material: 17:00 23 June, 2025

(6) Contact point for the notice : Erina Sato, Yushima Procurement Group 1, Yushima Accounting Division, Finance Department, Administration Bureau, Institute of Science Tokyo, 1-5-45 Yushima Bunkyo-ku Tokyo 113-8510 Japan, TEL 03-5803-5942